

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

結城市「美しいゆとりある快適環境」再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

結城市

### 3 地域再生計画の区域

結城市の全域

### 4 地域再生計画の目標

結城市は関東平野のほぼ中央、首都圏から約70kmの茨城県西北端の栃木県境に位置しています。東は鬼怒川を挟んで筑西市、南は八千代町・古河市、西は西仁連川を境に栃木県小山市に接しており、茨城県の西の玄関口となっています。市域は東西に約6km、南北に約13kmと南北に長く、総面積は65.84km<sup>2</sup>であり、全域が結城台地と呼ばれる比較的緩やかな低稜傾斜地帯に広がっています。人口は52,886人（平成17年12月1日現在）で古くから養蚕及び織物が盛んであり、本市で織られる「本場結城紬」は、国の重要無形文化財に指定され、重要な伝統産業であるとともに貴重な地域資源となっています。

市北部には歴史的風情を残す市街地が形成されており、神社・寺院などが点在し、街中には蔵造りも見られるなど、中世の城下町の姿を残しています。一方、南部には広大な農地が広がっており、恵まれた気候と地形条件に加え、首都圏に近接している立地条件を生かし野菜を中心に稲作・畜産等バランスのとれた多様な農業が営まれています。また、市内を流れる鬼怒川・西仁連川などの河川と吉田用水などの先人が作り上げてきた用排水路は、長い歴史の中で風土に溶け込み、身近に親しめる自然環境と広がりのある美しい田園環境の形成の重要な要因となっており、水と緑豊かな地域環境の形成に大きく貢献するとともに、地域に密着した産業の場、ゆとりと潤いのある生活の場として重要な役割を果たしています。

一方、昭和30年代以降の経済成長期を契機とした人口の増加と生活様式の変容は、生活系排水の量的増加による公共用水域の水質汚濁を招き、自然環境の破壊や悪臭、害虫の発生など市民の生活環境を悪化させる結果となりました。また、農業用排水路に流入した生活系排水は農業用水の水質汚濁を進行させ、農作物の生育障害や排水路の機能低下など、農業生産環境にも悪影響を及ぼしてきました。さらには、農業の兼業化や高齢化に伴う担い手不足による耕作放棄農地の増加が、美しい田園環境を損いつつあります。

こうした状況を踏まえ、本市では、緑豊かな自然や歴史を市民の誇りとし、先人より受け継いだ環境を守り育みながら、いきいきとした豊かな市民生活と活力ある地域を築き、特色ある結城文化を創造していくことを目標として「みどりと歴史のいきいき文化創造都市・結城」を将来像と定めた、第4次結城市総合計画を策定しました。この将来像を実現するための5つの柱の一つとして「美しいゆとりある快適環境と景観づくり」を設定し、豊かな自然や歴史との共生を基本として、だれもが快適な生活を過ごすことができる美しい環境・景観づくりに取り組んでいます。

昭和46年から公共下水道事業、平成3年から農業集落排水事業・合併浄化槽設置事業を進めてきました。平成9年には茨城県から生活排水対策重点地域の指定を

受けたことにより、結城市生活排水処理施設整備計画を策定し、各事業を連携して生活系排水処理に取り組んでいます。その中で、公共下水道事業の認可区域内汚水処理人口普及率は85.0%と整備が順調に進んでいる一方で、認可区域外の地域の汚水処理人口普及率は36.0%と依然として低く、農業集落排水事業・合併浄化槽設置事業のより一層の事業の推進が急務となっています。

このため、集落内における生活環境の改善と公共用水域の水質改善を図り、次のような地域の再生を目指します。第一に、汚水処理施設整備を一層促進し、水洗化率を向上させ、公共用水域の水質改善により美しい田園環境と水辺環境の保全を図ります。第二に、公共公益施設や公園、道路沿いの空スペースに、市民ボランティアを中心に花や緑を植える「花と緑の街づくり推進事業」や各自治会を通じ全市民が身近な道路や用排水路、河川のゴミを一斉に収集する「市民一斉クリーン作戦」を実施することにより、美しいゆとりある快適環境づくりを推進し、あわせて環境保全に対する意識高揚と地域コミュニティの活性化を図り地域の再生を目指します。第三に、結城市認定農業者連絡協議会を中心に、地域農業のリーダーとなる担い手農家育成のための事業を実施し、農業経営の安定化や担い手農家の育成を図り、担い手農家を核として農村地域の活性化を推進し、耕作放棄農地を解消し、美しい田園環境の保全と農村地域の再生を目指します。

#### (目標1)

汚水処理施設の整備の促進（農業集落排水事業と合併浄化槽設置の汚水処理人口普及率を36.0%から46.5%に向上）

#### (目標2)

公共用水域の水質改善（西仁連川と吉田用水及び絹西排水路の年平均BODを2.8mg/から2.4mg/に改善）

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

農業集落排水事業は平成3年度に事業に着手し、現在2地区が整備済みです。現在実施中の江川南地区については平成22年度までに整備します。

合併浄化槽設置事業は平成3年度より継続的に事業を実施しており、公共下水道認可区域及び農業集落排水事業採択区域以外の区域を対象に平成22年度までに500基を整備します。

花と緑の街づくり推進事業は公共公益施設や公園、道路沿いの空スペースに、各種団体・自治会・学校等の市民ボランティアを中心に花や緑を植え、美しい景観の創造や環境美化を図るため継続して実施します。

市民一斉クリーン作戦は各自治会を通じ全市民が身近な道路や用排水路、河川のゴミを一斉に収集することにより、自然環境の保全と環境の美化を図るとともに、環境保全に対する意識を高揚するため継続して実施します。

担い手農家の育成は結城市認定農業者連絡協議会を中心に地域農業のリーダーとなる担い手農家育成のため研修会や情報交換及び交流を実施します。

以上のような事業を一体的に進め、田園環境や自然環境の保全と生活環境の改善を図り、美しいゆとりある快適環境と景観づくりを実現することにより、地域の再生を目指します。

## 5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

### 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を領している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・農業集落排水……平成16年4月に、事業採択の通知を国より受けている。

#### [事業主体]

- ・いずれも結城市

#### [施設の種類]

- ・農業集落排水施設
- ・合併浄化槽（個人設置型）

#### [事業区域]

- ・農業集落排水施設 江川南地区
- ・合併浄化槽（個人設置型） 結城市の区域の一部  
（公共下水道事業認可区域及び農業集落排水  
大戦防地区・矢畑地区・江川南地区を除く）

#### [事業期間]

- ・農業集落排水施設 平成18年度～平成22年度
- ・合併浄化槽（個人設置型） 平成18年度～平成22年度

#### [整備量]

- ・農業集落排水施設 75～200mm 11,090m  
処理施設 1箇所
- ・合併浄化槽（個人設置型） 500基

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

- ・農業集落排水施設 江川南地区 1,143人
- ・浄化槽（個人設置型） 結城市の区域の一部 1,500人

#### [事業費]

- ・農業集落排水施設 事業費 1,442,280千円  
（うち、交付金721,140千円）  
単独事業費 129,000千円
- ・合併浄化槽（個人設置型） 事業費 196,650千円  
（うち、交付金65,550千円）
- ・合計 事業費 1,638,930千円  
（うち、交付金786,690千円）  
単独事業 129,000千円

### 5 - 3 その他の事業

#### ・花と緑の街づくり推進事業

各種団体・自治会・学校等の市民ボランティアを中心に公共公益施設や公園、道路沿いの空スペースに花や緑を植え「花と緑の街づくり」を展開することにより、美しい景観の創造や環境美化を図るとともに、地域住民の参加意識を高め、地域を活性化するボランティア精神を育てることを目的として事業を展開します。

#### ・市民一斉クリーン作戦

各自治会を通じ全市民が身近な道路や用排水路、河川の一斉ごみ収集を実施し、環境美化を推進するとともに環境保全に対する意識高揚を図ります。

#### ・担い手農家育成

結城市認定農業者連絡協議会を中心に、地域農業のリーダーとなる担い手農家のため研修会や情報交換及び交流等を実施し、認定農業者の育成と支援を行うことにより農村の振興を図ります。

## 6 計画期間

平成18年度～平成22年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

結城市が計画終了後に、地域再生計画の目標に掲げた指標について必要な調査を実施し達成状況を把握するとともに、評価・改善事項の検討を行い、公表します。

また、第三者による公共用水域の水質検査を実施するとともに、結城市生活排水対策推進計画と照らして、施設の整備状況について評価・検討いたします。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し